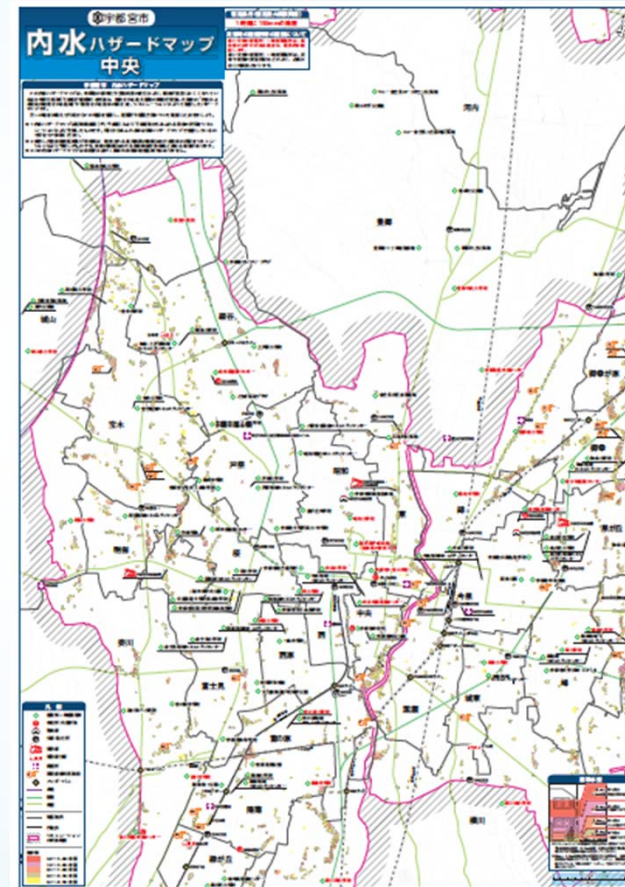


内水ハザードマップの公表について



宇都宮市上下水道局下水道管理課

目次

1 水害に備えた本市の取り組み

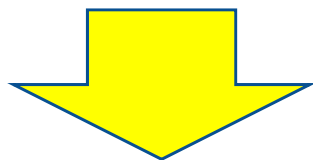
2 内水ハザードマップについて

3 周知・啓発活動

1 水害に備えた本市の取り組み

宇都宮市総合治水・雨水対策推進計画について

- 令和元年東日本台風や近年の局所的豪雨などによる被災



- 「宇都宮市総合治水・雨水対策推進計画(令和3年5月)」策定
- 「流す」「貯める」「備える」の3つの柱のもと、
自助・共助・公助による浸水被害軽減に向けた取り組みを進め、
水害に強いまちづくりを推進

本市の取組事例①

5

「流す」取組

⇒ 河川や雨水を安全に流す取組

【河川整備】



【下水道雨水幹線整備】



「貯める」取組

⇒ 河川や下水道への流出抑制

【公共施設貯留】



【民有地貯留】

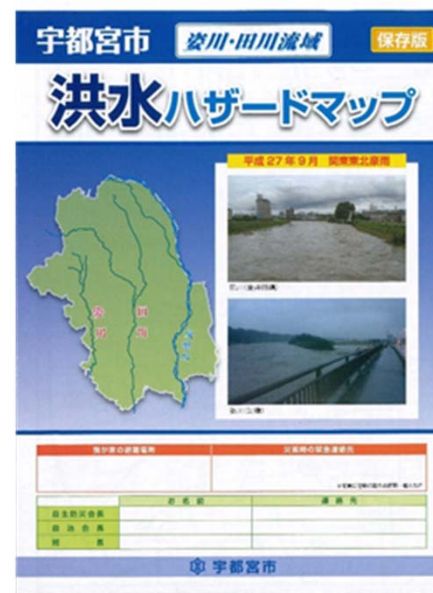
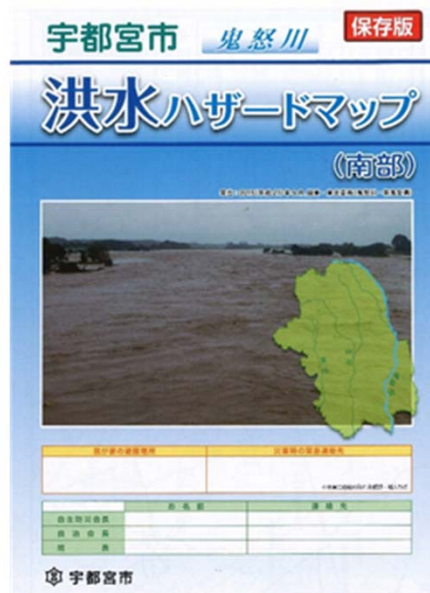


本市の取組事例②

「備える」取組

⇒ 市民の適切な避難行動の促進を図るため、
ハザードマップの作成・周知等を実施

【洪水ハザードマップ】



【内水ハザードマップ】

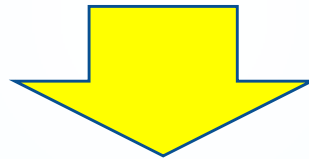


2 内水ハザードマップについて

ハザードマップの目的

あらかじめ市民の皆様に周知

- ・ 洪水・内水氾濫
1000年に1回程度の降雨量を想定した「浸水想定区域」



災害への備え

- ・ 的確かつ速やかな避難行動
- ・ 非常持ち出し品の事前準備
- ・ 避難情報の取得

洪水・内水氾濫について

洪水

台風などの長時間の降雨に伴う、河川からの溢水により発生する浸水

内水氾濫

市街地などに局地的短時間に大量の降雨が生じた場合において、側溝や下水道から水があふれ、低い土地やアンダーパスなどで局所的に発生する浸水

【水害のメカニズム】



洪水・内水氾濫の特性

10

洪水

- ・ 台風等の長時間降雨により発生
- ・ 長時間に及ぶ広範囲での浸水

内水氾濫

- ・ 短時間降雨で点在した浸水
- ・ 洪水に比べ発生までの時間と、解消までの時間が短い
- ・ 河川から離れた場所でも発生

ハザードマップの種類

11

○ 洪水ハザードマップ

- ・ 鬼怒川洪水ハザードマップ
- ・ 姿川・田川・釜川・武子川洪水ハザードマップ
- ・ 江川洪水ハザードマップ
- ・ 新川洪水ハザードマップ
- ・ 赤堀川洪水ハザードマップ

○ 内水ハザードマップ

- ・ 内水ハザードマップ
(北部・中央・東部・南部)

⇒ 令和4年3月作成

ハザードマップの内容

12

	洪水ハザードマップ	内水ハザードマップ
対象となる被害	河川からの溢水	下水道などの雨水管の溢水
対象降雨	1000年に1度の降雨	
	台風等の長時間降雨	ゲリラ豪雨等の短時間降雨
浸水深の区分	4段階	5段階
	<ul style="list-style-type: none">5.0～10.0m未満3.0～5.0m未満0.5～3.0m未満0.5m未満	<ul style="list-style-type: none">3.0～5.0m未満1.0～3.0m未満0.5～1.0m未満0.3～0.5m未満0.2～0.3m未満

内水ハザードマップの作成条件

対象区域

⇒ 雨水が浸透しにくく、内水氾濫のリスクが高い市街化区域を対象

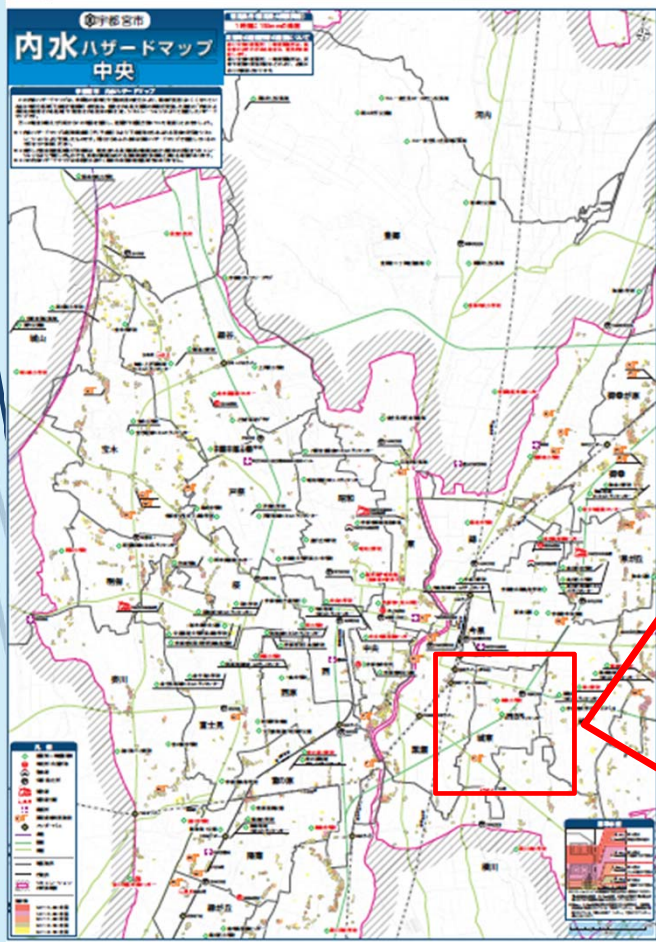
対象の降雨

⇒ 近年の気候変動の影響を踏まえ、想定される最大規模の降雨(1時間あたり150mm)

マップの種類

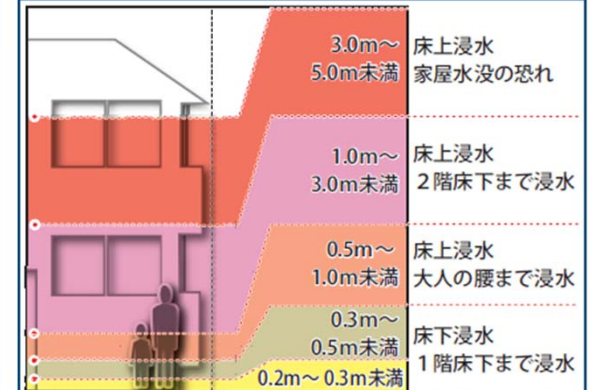
⇒ 「北部版」「東部版」「南部版」「中央版」の4種類

内水ハザードマップの記載内容(地図面)



浸水区域

基準水位



※シミュレーションの範囲内で着色がない箇所につきましても道路冠水程度(0.2m未満)の浸水が発生する場合がありますので避難の際には注意してください。

※3.0m～5.0m未満の浸水が想定される箇所は、北部版、東部版に記載されている「御幸アンダー」、南部版に記載されている「塚山古墳アンダー」「宮の下アンダー」のみとなります。

○ 避難所・避難場所

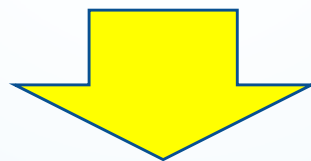
内水ハザードマップの記載内容(情報面)

【主な記載内容】

- 日頃からの心がけ, 避難時の心得
- 非常持出品・家庭内備蓄
- 緊急時の連絡先
- 避難情報, 判断水位
- 避難に関する情報
- ※ 洪水・内水ともに記載内容に大きな違いはありません。

内水ハザードマップ公表により見込まれる効果

- ・ 市民自らが自宅や学校，職場の浸水想定や避難所等までの安全な避難経路の検討が可能
- ・ 非常持出品・家庭内備蓄などの事前準備の活用が可能
- ・ 洪水ハザードマップと併せて確認することで，浸水特性を踏まえた，最適な避難行動（垂直避難など）の検討が可能



- ・ 水害時における市民の速やかな避難行動に繋がる。
- ・ 市民の防災意識の向上

3 周知・啓発活動

周知・啓発活動

【これまでの取組】

- 上下水道局ホームページや広報紙へ掲載
- 浸水想定区域を抱える自治会へ回覧の実施

【今後の取組】

令和4年7月下旬～

- 浸水想定区域内に位置する建物へポスティング配布を実施【8月下旬まで(見込み)】

ご清聴ありがとうございました